

学 会 記 事

◎第12回理事会 (36.5.22) 出席者：沼田会長，外理事11名。議事：1) 35年度事業報告について。2) 35年度決算報告について。3) 36年度後任理事推せん世話人会よりの付帯的申入れ事項。4) 35年度土木賞授賞について。5) 支部長，地区常議員および委員会委員委嘱について

1. 関西支部

支部長 高津 俊久 大阪市計画局長
 常議員 大串 満馬 近畿地建道路部長
 " 高津 俊久 大阪市計画局長
 " 田中 茂 神戸大学教授
 " 富北 敏夫 大阪工業大学学長

2. 文献調査委員会

委員 仁木 理夫 日本道路公団工務部工務二課
 " 土居 威男 宮地鉄工所技術部設計課
 " 御巫 清泰 運輸省港湾局建設課
 " 松崎 茂樹 東京都水道局給水部配水課
 " 萩原 兼脩 建設省河川局開発課

3. 出版企画委員会

幹事 竹原 清隆 日本道路公団総裁室
 " 高橋 裕 東京大学工学部

4. 論文集編集委員会

委員長 丸安 隆和 東大生産技術研究所
 委員 色部 誠 電力中央研究所技術研究所
 " 北川 英夫 東大生産技術研究所
 " 山本 稔 都立大学工学部
 " 飯田 隆一 建設省土木研究所
 " 山本 保晴 東京都水道局建設部設計課
 " 佐藤 昭二 運研港湾水工部
 " 土屋 昭彦 建設省河川局計画課
 " 高瀬 信忠 建設省土木研究所
 " 山川 尚典 "
 " 倉田 進 運輸省調査設計室
 " 室町 忠彦 国鉄鉄道技術研究所
 " 佐川 嘉胤 鹿島建設KK技術研究所
 " 浅川 美利 日本大学理工学部
 " 石橋金一郎 建設省計画局区画整理課
 " 長谷川五郎 建設省首都高速道路公団監理官室
 " 川島 賢一 東京電力KK建設部土木課
 " 西片 守 建設省道路局企画課
 " 立松 俊彦 国鉄新幹線総局
 " 佐藤 吉彦 国鉄鉄道技術研究所

5. 異形鉄筋設計研究小委員会

委員長 国分 正胤 東京大学工学部
 委員 伊東 茂富 建設省土木研究所
 " 池田 康平 国鉄構造物設計事務所
 " 川口 輝夫 "
 " 猪股 俊司 極東鋼鉄コンクリート振興KK
 " 河野 通之 国鉄新幹線総局工事局
 " 栗原 利栄 日本道路公団総裁室
 " 相良 正次 建設省道路局二級国道課
 " 田村 浩一 国鉄新幹線総局工事局
 " 樋口 芳郎 国鉄鉄道技術研究所
 " 深谷 俊明 日本交通技術KK

委員 松崎 彬磨 首都高速道路公団
 " 松島 岩夫 建設省道路局二級国道課
 " 宮崎 昭二 首都高速道路公団

6) 36年度夏期講習会の計画について，日時・場所・題目および講師・教材・見学場所・映画・修了証・会費など報告に発表のとおり決定した。7) その他；①東アジア地域地震学および地震工学セミナー開催に協力依頼について，②吉田徳次郎博士記念事業会より学会への委託について。

◎各種委員会

(1) 第11回会誌編集委員会 (36.4.25) 出席者：斎藤，堺正副委員長，外委員14名。議事：1) 投稿原稿の審査報告および新規受付原稿審査委員の決定。2) 依頼原稿の状況について。3) 46巻6号登載原稿の予定。4) 新規依頼原稿について。5) 委員交代について。6) その他。

(2) 第3回土木賞委員会 (36.4.27) 出席者：沼田，米谷正副委員長，外委員12名，幹事4名。議事：決選投票の結果次の授賞論文を決定した。

土木学会賞

1. 鉄道軌道変位の研究	小野木次郎
1. 風と波を考慮した海岸堤防の形状と構造に関する研究	永井莊七郎
混成防波堤の直立部の滑動と直立部底面に働く揚圧力について	

土木学会奨励賞

1. 漂砂の運動機構に関する基礎的研究	榎木 亨
1. 開水路分水工の研究	室田 明
1. 膨脹性地山におけるずい道の土圧と施工法について	野沢 太三

(3) 第1回異形鉄筋設計研究委員会 (36.4.27) 出席者：国分委員長，外委員11名。議事：1) 委員会運営方針。2) 委員会の構成。2) 委員の分担。4) その他。

(4) 第3回海外連絡委員会 (36.4.28) 出席者：田中委員長，外委員および幹事13名。報告：海外における日本土木技術活動の事情・三野 定氏よりフィリピンにおける情況聴取。議事：1) 学術会議における国際会議出席者選考に関する学会との関係・福田委員。2) 欧文年報企画とこれが作製の機構組織について。3) 本委員会の運営方針について。4) その他。

(5) 土木賞主査幹事会 (36.5.8) 出席者：星莖，岡本両主査，平嶋，千秋，大平，山本の各幹事。議事：1) 土木賞受賞論文の要旨を学会誌へ掲載の件。2) 募集要項，内規などについて。3) 土木賞授賞理由の原案について。4) その他。

(6) 第12回文献調査委員会 (36.5.8) 出席者：久野委員長，外委員および幹事11名。議事：1) 46巻6号登載抄録，目録の選定。2) 文献目録へ新しく追加する文献について。3) 原稿料の改正について学会側の案について検討した。4) 委員会組織および運営に関する新提案について。5) 委員交代について次のとおり了承した。

退任委員	後任
西原 巧 萩原 兼脩	建設省河川局開発課
高野 祐吉 土居 威男	KK宮地鉄工所技術部設計課
城所 正雄 御巫 清泰	運輸省港湾局建設課
今岡 正美 松崎 茂樹	東京都水道局給水部配水課
佐藤 正昭 仁木 理夫	日本道路公団工務部工務二課

(7) 第12回会誌編集小委員会 (36.5.9) 出席者：堺副委員長，外委員4名。議事：1) 46巻5号の口絵について検討。2) 46巻5号ニュース11編を報告。3) 46巻6号の内容を決定(報告3編，解説2編，海外事情1編，研究所めぐり1編，講座1編)。4) 豆知識，編集後記について。

(8) 第6回論文集各部委員会 (36. 5. 10) 出席者：第1部会・委員 10名，第2部会・林部会長，外委員 10名，第3部会・最上委員長，山川新部会長，外委員 7名，第4部会・丸安部会長，外委員 9名，その外・八十島編集理事，西脇幹事。議事：1) 各部会ごとに審査中原稿の審査報告。2) 新規受付原稿審査委員の決定。3) 新旧委員の交代に際し事務引きつきを行った。4) 36年度委員長，および副委員長，部会幹事を次のとおり決定した。

	委員長 丸安 隆和	副委員長 林 泰造
第1部会	部会長 久保慶三郎	部会幹事 竹間 弘
第2部会	” 林 泰造	” 高橋 裕
第3部会	” 山川 尚典	” 久野 悟郎
第4部会	” 丸安 隆和	” 柳田 力

(9) PC設計施工指針改訂に関する委員会 (36.5. 9~10) 場所：仙石原箱根甲子園。出席者：国分委員長，外委員 47名。議事：1) 委員長の経過報告。2) 最終原案1条~64条を逐条審議。3) 指針の条文決定。4) グラウトの注入に関する原案審議。

(10) 第47回耐震工学委員会 (36. 5. 12) 出席者：那須委員長，外委員 8名，外に 5氏。議事：1) 地震工学セミナーについて。2) 地震工学研究発表会について。3) 地震観測相互連絡について。

(11) 第1回出版企画委員会 (36. 5. 17) 出席者：荒井副委員長，八十島幹事長，外委員および幹事 11名。議事：1) 常任委員会報告。2) 委員会の構成を委員会・幹事会の2本立とし幹事会月1回，委員会隔月1回開催とした。幹事会の構成メンバーは次のとおりとする。

幹事長	八十島義之助	(新任) 幹事	高橋 裕
幹事	城所 正雄	”	竹原 清隆
”	小池 修二	”	三宅 政光

3) 海外連絡委員会立案の欧文年報は付帯意見をつけて同委員会を実現するよう要望。4) 一般むけパンフレット編集について協議。5) 土木工学叢書，ハンドブックについて技報堂の報告を開き討議した。6) その他。

(12) 第2回構造物耐震設計研究委員会幹事会 (36. 5. 18)

出席者：久保幹事長，外委員および幹事 21名。議事：耐震設計要項案につき総合的および各条について審議。

(13) 第6回論文集部会長会 (36. 5. 19) 出席者：最上委員長，丸安新委員長，林新副委員長，外部会長および幹事 10名。議事：1) 各部会報告。2) 各部会での原稿処理状況について。3) 新規受付原稿の確認。4) 論文集第75号 (36年7月発行) 掲載原稿の予定。5) 地方委員の追加について

北海道支部	4部会	鉄筋コンクリート関係
中四支部	2部会	水理構造物関係
西支部	1部会	構造力学関係

6) 著者負担論文のページ制限について・原則を 30 ページとし，論文の性質によっては増ページを認める。7) その他。

◎その他

(1) 後任理事候補者選考世話人会 (36. 4. 26) 菊池 明，本間 仁，富樫凱一，川村満雄，田中行男，川勝四郎の諸氏により候補者を選考した。

(2) 関東地区常議員候補者選考世話人会 (36. 5. 11) 内田寿雄，尾之内由紀夫，左合正雄，佐藤 肇，西村俊夫，宮地武夫の諸氏により候補者を選考した。

(3) 夏期講習会講師打合せ (36. 5. 15) 出席者：国分正胤，野口 功，猪股俊司，野口秀美，樋口芳朗，田原保二，友永和夫，栗原利栄の各講師および林理事。議事：講演日程，題目，講師および教材，見学場所，映画などの決定。

(4) 東京湾輸送調査委員会臨時幹事会 (36. 5. 16) 出席者：八十島副委員長，幹事 8名。議事：東京湾沿岸地域実地視察について日程，場所，世話係，その他を決定。

(5) 水理委員会在京委員打合せ (36. 5. 18) 出席者：伊藤委員長，委員および幹事 14名。議事：次回水理委員会に提案する水理委員会 および水理研究会の内規案について検討した。

支 部 だ よ り

◎東北支部

昭和 36 年度支部総会 (36. 5. 12, 仙台商工会議所ホール 3 階)

1. 開会の辞 幹事長
2. 支部長挨拶
3. 議長選出
4. 議 事
 - ① 35 年度事業経過および収支決算報告 幹事長
 - ② 同 上 監査報告 監査員
 - ③ 36 年度事業計画および収支予算説明 幹事長
 - ④ 役員選出 葉袋正明
5. 新支部長挨拶
6. 閉会の辞 幹事長
7. 特別講演

国鉄新幹線について 国鉄新幹線総局工務局長 宮沢吉弘

8. 映 写 会 (15.30 より)

① 国鉄北陸線の記録 ② 御母衣ガム

9. 懇親会 (17.30~19.00)

場所 東北電力ビル グランド ホテル

東 北 支 部 総 会 会 場



◎ 関西支部

(1) メナール博士特別講演会 (36. 5. 16, 大手前建設会館，日仏工業技術会・日仏理工科学会主催，土質工学会関西支部・土木学会関西支部後援)，参加者：68名。

(2) 第4回商議員会 (36. 5. 17, 中央電気倶楽部) 出席者：加納，幫，川島，小西，篠原，谷，長谷川，三上，水野(俊)，水野(福)，畑中，小原(代皿沢)，和田(代永田)の各商議員，高西，近藤(泰)前支部長，高津常議員，近藤支部長，小西幹事長，石田，大村，岡田，宮崎，中川，毛利の各幹事。

(3) 第34回通常総会 (36. 5. 17, 中央電気倶楽部) 出席者：73名。

1. 昭和 35 年度事業および会計報告
2. 新役員紹介
地区常議員 (昭. 36, 37 年度)
大串 満馬 近畿地建道路部長

高津 俊久 大阪市計画局長
 田中 茂 神戸大学教授
 宮北 敏夫 大阪工業大学学長
 支部長(昭. 36 年度)
 高津 俊久 大阪市計画局長
 商議員(昭. 36, 37 年度)
 安藤 隆敏 奈良県土木部道路課長
 伊藤 徳彦 関西電力建設部土木課長
 伊藤 直行 近畿地建企画室長
 居谷 献吉 三井建設大阪支社土木課長代理
 石原 安雄 京大防災研教授
 片野 英二 和歌山県土木部河港課長
 黒井 俊治 北海道ピーエス大阪事務所長
 皿沢 徳志 福井県土木部計画課長
 中平 一夫 高田機工技術部長
 永田 安彦 兵庫県土木建築部港湾課長
 西村 昭 神戸大学助教授
 藤田 泰夫 京都府土木建築部田辺土木工務所長
 三露 嘉郎 滋賀県土木部大津土木事務所長
 宮田 裕 大成建設大阪支店土木課長
 村上 譲 京阪神急行建設部建設課長
 若木 三夫 近畿地建豊岡工事々務所長
 幹事長(昭. 36 年度)

米谷 栄二 京都大学教授
 幹 事(昭. 36 年度)
 赤尾 親助 大阪大学助教授
 小笠原二郎 兵庫県土木建築部計画課長
 星野 出雲 日本道路公団 大阪支社 工事課長兼設計課長
 水野福太郎 大阪市計画局計画課長
 同幹事(昭. 36 年度重任)
 伊藤 直行 近畿地建企画室長
 石田 聖 鹿島建設大阪支店第一営業部長
 打田 富雄 国鉄大阪工務局停車場課長
 大村 裕 神戸大学助教授
 岡田 清 京都大学教授
 中川 貞雄 大林組土木部次長
 宮崎虎太郎 大阪府土木部河川課長
 毛利 正光 大阪市立大学助教授
 (4) 総会懇親会(昭. 36. 5. 17, 中央電気倶楽部) 出席者: 57 名, 参加費 200 円。
 (5) 通俗講演会(昭. 36. 5. 20, 神戸市立須磨水族館) 参加者: 401 名。
 (6) 商議員(昭. 36 年度) 補欠異動
 岡崎 義信(国鉄大阪鉄道管理局施設部計画課長) 前任者 黒川 存西部支社へ転出のため

編 集
後 記

高速道路, 東海道新幹線など最近における土木工事はいちじるしい活況を以てしております。会員諸兄の御努力によりこれらの工事には新技術, 新工法がさかんに採用されているわけですが, 特に土質および基礎方面における進歩は誠に目覚ましいと思えます。本号にも講座として4月号より引続き「地盤改良工法」がのせられていますが, 好評をはくすることと思っております。現在依頼原稿としまして「東海道新幹

線」, 「都市の開発」, 「美学より見た土木構造物」のほか電源開発, 基礎杭関係などの記事登載を予定しております。会員諸兄の御投稿を期待しますとともに, 記事の表題, 執筆者などにつきまして案がありましたら, ぜひお知らせ下さい。次号は総会特集号としまして, 会長講演, 土木賞受賞者報告, また総会講演としまして「伊勢湾台風の被害および復旧工事の概要」, 「名古屋市の都市計画」, 「東海道新幹線について」, 「中部地域産業基盤整備について」, 「コンクリート工学における最

近の話題」, 「世界におけるダムのすう勢」, 「橋梁工学最近の諸問題」, 「交通工学最近の諸問題」などを予定しております。もちろんその他に毎号と同じ「報告」「講座」などの記事もあります。一口に土木と申しましてもいろいろの分野があり, 会員諸兄はそれぞれ分野で活躍されているわけですが, とかく視野が狭くなり勝ちです。このような機会を逃さずにほかの分野に眼を転じてその概要を知り, 視野を広めたいものと思えます。御期待下さい。
 【米沢・記】

会 員 入 退 会 に つ い て (昭和 36 年 5 月 1 日 ~ 31 日まで)

1. 入 会	331 名 (正 88, 学 236, 特 1 D 6, 特 2 1)
2. 復 活	7 名 (正)
3. 退 会	73 名 (正 69, 学 1, 特 1 C 1, 特 1 D 2)
4. 転 格	23 名 (学→正 4, 正→名誉 9, 特 1 C→特級 1, 特 1 C→特 1 A 1, 特 1 C→特 1 D 2, 特 1 D→特 1 C 6)

会 員 現 在 数 (昭和 36 年 5 月 31 日現在)

名誉	正員	学生員	賛助	特級	特 1 A	特 1 B	特 1 C	特 1 D	特 2	計	(増)
40	13 097	1 029	30	11	12	26	131	222	15	14 613	(265)

昭和 36 年 6 月 10 日印刷
 印刷者 大 沼 正 吉
 発 行 者 末 森 猛 雄
 定 価 200 円

昭和 36 年 6 月 15 日発行
 印刷所 株式会社 技報堂
 発行所 社団法人 土木学会
 振替 東京 16828 番

土木学会誌 第 46 巻 第 6 号
 東京都港区赤坂溜池 5 番地
 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
 電話 (351) 5130・5138・5139 番